

特許紹介（平成12年10月～11月分）

研究企画部 研究推進グループ 知的財産チーム

1 設定登録を受けた特許(平成12年10月～11月分)の紹介

以下に掲載いたしました特許に関するご質問等は、研究推進グループ知的財産チームに問い合わせ願います。

種別	登録番号	登録年月日	発明等の名称	当社発明者	共有権利者	当社技術主管部署
特許	3117519	2000/10/6	酸化物超電導線材	佐治 明 井上 俊夫	(株)フジクラ	電力技術研究所 電力グループ 超伝導・新素材チーム
特許	3117520	2000/10/6	酸化物超電導線材の製造方法	佐治 明 井上 俊夫	(株)フジクラ	電力技術研究所 電力グループ 超伝導・新素材チーム
特許	3117521	2000/10/6	酸化物超電導線材の製造方法	佐治 明 井上 俊夫	(株)フジクラ	電力技術研究所 電力グループ 超伝導・新素材チーム
特許	3117781	2000/10/6	固体電解質型燃料電池用電極材料の作製方法	服部 雅俊	(財)ファインセラミックスセンター 関西電力(株) (株)ユアソーボレーション	電力技術研究所 エネルギーグループ 燃料電池チーム
特許	3118496	2000/10/6	分散ネットワークシステムの異常検出処理方式	香田 勲	日立電線(株) (株)東芝 三菱電機(株)	本店 工務部 発变电グループ
特許	3121904	2000/10/20	避雷器を備えたコンデンサ形計器用変圧器	森田 政夫 植田 俊明	(株)明電舎	電力技術研究所 電力グループ 送变电チーム
特許	3122901	2000/10/27	電動2輪車	伊藤 邦之	九州電力(株) (株)東京アールアンドデー	本店 営業部 計画グループ
特許	3124115	2000/10/27	炭酸ガスクラスレート生成量測定装置	堺 松成 佐治 明 野田 英智	三菱重工業(株)	電気利用技術研究所 環境・化学グループ 環境・リサイクルチーム
特許	3124408	2000/10/27	耐雷架空地線	横谷 宗久	古河電気工業(株)	電力技術研究所 電力グループ 送变电チーム
特許	3127011	2000/11/2	CVD反応装置	佐治 明 黒田 昇 吉田 弘	(株)フジクラ	電力技術研究所 電力グループ 超伝導・新素材チーム
特許	3127045	2000/11/2	微量粉末連続供給装置	長屋 重夫 井上 俊夫	(株)フジクラ	電力技術研究所 電力グループ 超伝導・新素材チーム
特許	3130581	2000/11/17	自動給電システム	常泉 哲男 清水 学 井上 紀宏	(株)東芝	電力技術研究所 システムグループ 系統チーム

2 各支店「特許セミナー」の開催とキーマンの紹介

知的財産である特許について、幅広く普及啓蒙をはかり第一線事業所からの積極的な特許出願を行っていくために、各支店ごとに特許キーマンのための知的財産権講習会を開催しています。特許キーマンの方々のご指導により各職場から有益な特許が数多く出願されるよう、知的財産チームは万全の体制でサポートしていきます。

以下に、受講された特許キーマンの方々のご「声」の一部を紹介します。

【キーマンの声】

「改善提案、チャレンジサークル活動の中にも特許になるものがたくさんある。本店大の事務局間のスピーディーな横の連携をお願いしたい。」

「他社と特許の関連で問題を抱えている。特許の啓蒙活動を全社的に広げることで、対処等で役立つ。」

「特許の講習会は初めてである。教育体系に入社後すぐに、若い人から取り入れ教え込むことが重要。」

「若いうちからの教育により、特許になりそうなものを特許にさせる発想の芽を育てていくことが良い。」

「社外へ発表してしまうと、公知となってしまう、特許にならなくなってしまうことを初めて知った。もっと管理職に特許について教育して欲しい。」

「特許の数を増加させる努力は並大抵のことではない。講習会はその意識付けとして良かった。」

「特許は世の中で思いも付かないようなものでないと出せないと思っていたが、そうではなかった。」

「身近なところに、特許に関する材料があることを広く従業員に知らせることが大切だと思う。」

「電力自由化が進展する中で大変重要な部分への取り組みと感じた。」

「ビジネスモデル特許について『目からうろこが落ちる』程のショックを受け驚いた。様々な特許があるものだと感心した。」

「事務系はあまり関わりのないことだと思っていたが、ビジネスモデル特許等について、今回、必要性・重要性がよく理解できた。」

「技術部門では、改善提案・業務研究・チャレンジサークル等で生まれた技術で、メーカーと協力して製品化したものは今までに数多くある。しかし振り返ってみれば、その中には特許として出願できたものが幾つかあったのでは？ と今さらながら悔やまれる。現場は、『特許までは必要ないのでは・・・？』と考えてしまっている現状を改める必要があると感じた。」

「チャレンジサークル活動として取り組んだ初期の段階で『特許』を意識していくのかどうかの判断が必要であると思った。」



知的財産講習会

【名古屋支店管内】48名 H13.2.20実施



【静岡支店管内】43名 H13.4.6実施



【三重支店管内】41名 H13.3.9実施



【岐阜支店管内】41名 H13.4.26実施



【長野支店管内】52名 H13.3.2実施



【岡崎支店管内】37名 H13.3.21実施



【飯田支店管内】31名 H13.2.9実施



【火力センター管内】35名 H13.1.29実施



【浜岡原子力発電所】H13.5.10予定

【東京支社】H13.5.18予定

研究企画部 研究推進グループ

ご相談は、こちらまでよろしくお願いたします。



宮田隆夫

Miyata.Takao@chuden.co.jp



傳田健夫

Denda.Takeo@chuden.co.jp

知的財産チーム



足立忠男

Adachi.Tadao@chuden.co.jp



浅井政人

Asai.Masato2@chuden.co.jp



片桐敏雄

Katagiri.Toshio@chuden.co.jp



蔭山昌宏

Kageyama.Masahiro@chuden.co.jp